

札幌生まれ、札幌育ちの私ですが、大学卒業後は愛知県、宮城県にて農業土木コンサルタントとして過ごし、ようやく北海道に戻ってきたのは11年後でした。

この間、担当していた業務としては沖縄・九州・中国・東北地方の案件が主であり、生まれ育った北国の経験は余り生かすことが出来ず、残念な思いで過ごして参りました。

ようやく生まれ故郷の北海道に帰ってきた現在ですが、僅かながらも蓄積した技術で北海道に恩返しをしたいと奮闘しているところです(やはり「水」「空気」が合っているのでしょうか、札幌に戻ってきたその年に技術士も無事に合格できました！)。

北海道はその地域特性から「沈下」「耐寒」についての研究が古くから進んでおり、諸先輩方の設計構造物を見ても「北国で生き抜く」力強さを感じます。学生時代は別段気にならなかったことでしたが、様々な工夫がこらされており、設計サイドとして今一度「利用者の立場を考え、必要性能を満たす設計」を心がけるべきと感じているところです。

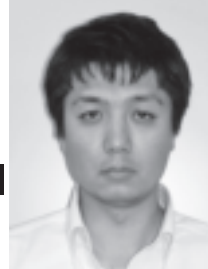
近年は局所的な大雨や冷夏などによる農作物への自然災害が増えています。食料危機が叫ばれる現在において、特に北海道における農作物の確保は今後の我が国を支える重要な役割を果たしており、我々土木技術者は社会生活を保護する上で大きな責任を担っていると思います。公共事業の面では厳しい時代ではありますが、官民一体となって「我が国を守る」ことに誇りを持って、日々技術研鑽していきたいと思っています。

三浦 亨 (みうら とおる)

●農業部門(農業土木)

勤務先

NTCコンサルタンツ株式会社
北海道支社 技術部



➡ 次号は、渡邊勇治さん(農業部門)

みなさん、はじめまして。私は建設コンサルタントに勤務し、営農技術や農村における自然環境に関する調査解析業務を担当しています。技術士になって約半年が経ちました。

ずいぶん長い年月を技術者として過ごしてきましたが、もともと自分が「技術」と名のつく世界に身を置くことになるとはまったく予定しておらず、

理論展開、論理的思考といった技術者の「基礎体力」がおぼつかないまま突っ走ってきたように思います。そんな中で技術士の受験勉強を通して、論理的矛盾や紛らわしい表現についての指摘、改善方法のアドバイスをたくさんいただきました。晴れて合格できた今、技術者として多少成長できたのではないかと自負しております。受験にあたりご指導いただきました諸先輩方にこの場を借りてお礼申し上げます。

近年は国営農地再編整備事業における事業効果調査を主に担当しており、調査は受益者の田畑をお借りして、実際の営農を行っていただきながらテーマとなる技術の実証、検証を行っております。調査の合間に、状況を見にこられた受益者の方々とフランクに話ができる機会が多いのですが、エンドユーザーである受益者の生の声を聞く経験は、私の大きな「財産」となっています。

これからも北海道農業の持続的発展のために、「基礎体力」を維持して、「財産」を上手に運用して、微力ではありますが精進し続けたいと思います。

飯野 良枝 (いいの よしえ)

●農業部門(農村環境)

勤務先

株式会社ルーラルエンジニア
計画・水利部門



➡ 次号は、寺林健一さん(農業部門)